

事業報告書

川西能勢口振興開発株式会社の第34期(令和2年4月1日から令和3年3月31日に至る)における事業の概要を以下のとおり報告いたします。

当期における、わが国の経済状況は、昨年4月から5月にかけて発出された緊急事態宣言の解除後は、GoToキャンペーンの実施や海外経済の回復に伴う輸出の回復等を受けて、年末まで継続して経済の持ち直しの動きがみられたものの、GoToキャンペーンの一時停止や年末からの新型コロナウイルスの感染拡大、変異型ウイルスの影響による医療提供体制の逼迫を受け、緊急事態宣言の再発令、その後の飲食業への時短要請により、飲食・宿泊などサービス業が打撃を受け、個人消費を中心に減少し、実質GDP成長率はマイナス4.6%で戦後最悪レベルの落ち込みとなりました。

今後は、ワクチン接種の推進等の感染拡大の防止策を講じるなかで、国の経済対策の着実な執行等による各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるところですが、今後も感染拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクにも十分注意する必要があります。

このような状況の中、川西市では、中心市街地の活性化に向けて、キセラ川西地区にキセラ川西せせらぎ公園、文化ホールに福祉・保健・公民館が併設された複合施設キセラ川西プラザ、また、大型商業施設オアシスタウンが整備され、川西能勢口駅東口東側エリアの「藤ノ木さんかく広場」を中心とした川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区を結ぶことにより、中心市街地の回遊性を向上させ、にぎわいが中心市街地全体に生まれ、持続可能なまちの創造に寄与することが期待されています。

当社の令和2年度の主な事業としまして、川西市中心市街地活性化協議会の構成員として、中心市街地のにぎわい創出、商業の活性化へ向け、各事業の協議や諸事業への参加を行いました。

また、川西市と兵庫県から助成を受け、地元2商店団体と連携を図りながら、12月に藤ノ木さんかく広場をメイン会場として、クリスマスイルミネーションを開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年、8月と12月に行っている「かわにし能勢口まつり～げんき deGo～」や「防災フェア&歳末感謝祭」を実施することはできませんでした。

次に、当社が販売元となっている「壺熟咖喱」については、令和2年度の売上額は、約388千円で、令和元年度と比べ約36%の減少となっています。

今後とも川西名産のいちじくの活用促進を図るため、販売価格の見直しを行うとともに、販路の拡大についても市内外への積極的なPR活動の展開が重要なため効果的な広報宣伝について検討を重ねていきます。

次に当社ビルの維持管理としまして、給水ポンプ取替等の給水装置改造工事や事務所等空調設備の取替工事等を行いました。

当社の経営状況としましては、上記給水装置改造工事費等に資金を要したところですが、営業時間の短縮による人件費の抑制等により令和2年度の純利益は約1,851千円となったところです。

しかしながら、当社ビルの一部に空室が生じたことに伴う新たな入居者の確保や屋上広告塔の看板撤去に伴う鋼材の補修工事を要するところです。

また、当社ビルの預かり保証金の資金確保やエレベーター等設備の老朽化に伴う修繕が生じる恐れがあります。

さらに令和2年度末での累積赤字が約20,360千円と誠に厳しい現状にあることから、今後ともより一層、経常的経費の節減に取り組むなど財政基盤の安定化と健全経営に努めてまいります。

貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部

I 流 動 資 産			
1 現 金 ・ 預 金	7,051,539		
2 売 掛 金	77,491		
3 商 品	203,018		
4 立 替 金	980		
5 未 収 入 金	88		
流動資産合計			7,333,116
II 固 定 資 産			
1 有 形 固 定 資 産			
1 建 物	6,423,593		
2 建 物	533,493		
3 建 物 付 属 設 備	1,581,853		
4 什 器 備 品	2		
5 土 地	73,212,203		
有形固定資産合計	81,751,144		
2 無 形 固 定 資 産			
1 電 話 加 入 権	147,968		
無形固定資産合計	147,968		
3 投 資 そ の 他 の 資 産			
1 出 資 金	100,000		
2 差 入 保 証 金	50,000		
投資その他の資産合計	150,000		
固定資産合計			82,049,112
資 産 合 計			89,382,228

負 債 の 部

I 流 動 負 債			
1 未 払 金	900,012		
2 未 払 法 人 税 等	799,000		
3 未 払 消 費 税 等	363,200		
4 前 受 金	586,832		
5 従 業 員 預 かり 金	57,758		
6 源 泉 分 預 かり 金	46,830		
流動負債合計			2,753,632
II 固 定 負 債			
1 預 かり 保 証 金	6,988,776		
固定負債合計			6,988,776

負債合計

9,742,408

純資産の部

I 株主資本

1 資本金

100,000,000

100,000,000

2 利益剰余金

(1) その他利益剰余金

1 繰越利益剰余金

△20,360,180

利益剰余金合計

△20,360,180

株主資本合計

79,639,820

純資産合計

79,639,820

負債・純資産合計

89,382,228

	營業利益		2,549,282
III	營業外收益		
	1 受取利息	60	
	2 受取配當金	3,000	
	3 雜收	99,614	102,674
IV	營業外費用		
	1 支払利息	1,935	
	2 雜損	1	1,936
	經常利益		2,650,020
	稅引前当期純利益		2,650,020
	法人稅等		799,000
	当期純利益		1,851,020

株主資本等変動計算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

	株主資本										純資産合計		
	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	純資産合計			
	資本金	資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 任意積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計						
当期首残高	100,000,000					22,211,200				22,211,200		77,788,800	77,788,800
当期変動額													
当期純利益						1,851,020				1,851,020		1,851,020	1,851,020
当期変動額合計	-	-	-	-	-	1,851,020				1,851,020		1,851,020	1,851,020
当期末残高	100,000,000					20,360,180				20,360,180		79,639,820	79,639,820

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
定率法（但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）
 - (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 2,000株
4. 1株当たり情報に関する注記
 - (1) 1株当たりの純資産額 39,819円91銭
 - (2) 1株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額 925円51銭

監査報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第34期事業年度における、会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

記

監査実施日	令和3年5月28日（金） 午後2時～
実施場所	川西能勢口振興開発㈱ 4階会議室
監査の方法	提出された令和2年度の事業報告書、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表と諸帳簿等関係書類を照合し、慎重に審査を加え、必要と思われる実査、立会、照合その他必要かつ合理的な方法を用いて監査した。
監査の結果	(1) 貸借対照表及び損益計算書は会計帳簿と合致し、法令及び定款に従って会社の財産及び損益状況を正しく示していると認める。 (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく示しているものと認める。 (3) 株主資本等変動計算書、個別注記表も、法令及び定款に従い会社の状況を正しく示しているものと認める。 (4) 執務執行に関し関係者に不正行為又は法令及び定款に反する重大な事実は認められなかった。

令和3年5月28日

川西能勢口振興開発株式会社

監査役 草場修二

監査役 今西慶春

事業計画書
収支予算書

第 35 期

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

川西能勢口振興開発株式会社

令和3年度 事業計画書

我が国の経済は、令和2年末にかけ国内外の段階的な経済活動の再開により持ち直してきましたが、緊急事態宣言再発令およびGoToキャンペーンの一時停止により飲食・宿泊などサービス業が打撃を受け、個人消費を中心に減少しマイナス成長が予測されます。

令和3年度は、緊急事態宣言解除後の反動や経済対策の効果などから持ち直しが予測されますが、飲食・宿泊などサービス業の回復には時間がかかり、雇用・所得環境の回復の遅れが景気回復に影響するものと考えられます。

政府は、当面、変異型ウイルスへの対策強化や医療体制の充実、ワクチン接種の推進等により感染拡大防止に万全を期しつつ、低所得の子育て世帯への特別給付金の再支給、資金繰り対策や雇用調整助成金の延長等を行うこととしています。

このような状況の中、川西市におきましても、引き続き感染予防対策を最優先に取り組むこととし、最優先事項となるワクチン接種に向けての体制整備について、医師会等関係機関と連携しながら着実に対応することとしています。

地域経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響で苦しい状況にある事業者を応援するため、令和2年度に引き続きプレミアム付商品券を発行するとともに、新しい生活様式や新しい働き方に積極的に対応する事業者を支援することとしています。

また、ポストコロナを見据え、商業者で構成する団体が地域の枠を超えたネットワークをつくるなど、新たなチャレンジへの支援を開始するとともに中小企業者が今日的な経営課題にチャレンジしようと策定した「経営革新計画」に基づく、新商品開発や、新たな販売方式導入などの取り組みを支援することとしています。

当社におきましては、引き続き、川西市中心市街地活性化協議会の構成員として、中心市街地の活性化へ向け取り組んでまいります。

また、地元2商店会と連携を図り、周辺商業団体や市の第三セクター、商工会、行政、地域住民等の協力を得ながら、夏と冬に藤ノ木さんかく広場をメイン会場に「かわにし能勢口まつり」を開催するなど、引き続き本市玄関口の賑わいづくりに取り組んでまいります。

川西特産のイチジクを用いた「壺熟咖喱」の販売については、売上額が減少傾向にあることから、販売価格の見直しを行うとともに、小売店での販売を重視し改めて小売店へのPRにも取り組んでいきます。また、販路の拡大につい

ては、市内外への積極的なPR活動の展開が重要なため効果的な広報宣伝について、検討を重ねていきます。

次に、当社ビルは、ここ数年空室がない状況で推移してきましたが、一部テナントの退去により、新たな入居者の確保に努めるとともに、当社ビル屋上広告塔の看板撤去に伴う鋼材の補修工事等を行う予定です。

当社の経営状態は依然として厳しい状況にあるため、経常経費の節減に取り組むなど、財政基盤の安定化と健全経営に努めてまいります。

川西能勢口振興開発株式会社
 令和3年4月1日～令和4年3月31日
 令和3年度一般会計収支予算書

収 入 (円)

科 目	令和3年度予算	令和2年度予算	摘 要
家賃収入	8,552,000	9,559,000	家賃等収入
広告収入	571,000	722,000	広告収入
礼金収入	468,000	0	
事務委託料収入	4,760,000	4,760,000	市中心市街地活性化協議会業務委託料
受取利息	1,000	1,000	受取利息
受取配当金	3,000	3,000	受取配当
雑収入	82,000	72,000	ウィルコム基地使用料 他
商品売上	576,000	720,000	老熟咖喱売上げ
合 計	15,013,000	15,837,000	

川西能勢口振興開発㈱

令和3年4月1日～令和4年3月31日

一般管理費等 予算

支 出

(円)

科 目	令和3年度予算	令和2年度予算	摘 要
役員報酬	600,000	600,000	役員報酬
給料手当	6,134,000	6,329,000	嘱託社員(1人)の給与・臨時社員(3人)の賃金
通勤費	289,000	265,000	通勤手当
法定福利費	460,000	459,000	社会保険、労災・雇用保険
清掃費	442,000	448,000	一般ゴミ処分、ビル清掃費
販売促進費	9,000	9,000	壺熟咖喱 販促用
旅費交通費	5,000	10,000	普通旅費
交際費	50,000	50,000	交際費(関係団体新年会等の会費 他)
通信費	138,000	190,000	電話使用料、郵送料 他
水道光熱費	617,000	674,000	上下水道料金、電気代 他
租税公課	585,000	585,000	固定資産税・収入印紙 他
消耗品費	30,000	30,000	一般消耗品費
事務用品費	146,000	146,000	事務用品費
保守管理費	1,103,000	1,103,000	機械警備、エレベーター・消防設備等保守管理 他
修繕費	800,000	1,000,000	1階入りロドア修繕ほか
保険料	123,000	123,000	火災保険料、施設賠償責任保険
支払手数料	253,000	20,000	振込手数料・仲介手数料 他
減価償却費	548,000	314,000	建物等
除却費	220,000	0	高置水槽撤去費
賃借料	184,000	184,000	コピー機リース料
報酬	330,000	469,000	税理士
会議費	100,000	100,000	株主総会、取締役会等会議用
負担金	52,000	52,000	市商工会等会費 他
地域活性化費	150,000	150,000	かわにし能勢口まつり助成
商品仕入高	443,000	443,000	壺熟咖喱仕入
消費税	731,000	1,040,000	
雑費	50,000	50,000	
一般管理費合計	14,592,000	14,843,000	
支払利息	0	2,000	
法人税等	220,000	220,000	国・県・市法人税
予備費	201,000	772,000	
合 計	15,013,000	15,837,000	

川西能勢口振興開発株式会社
令和3年4月1日～令和4年3月31日

固定資産費等予算書

1 固定資産費

支出 (円)

科目	令和3年度予算	令和2年度予算	摘要
建物	407,000	0	塔屋床防水工事
建物	1,181,000	0	塔屋鋼材塗装工事
合計	1,588,000	0	

2 固定負債費

支出 (円)

科目	令和3年度予算	令和2年度予算	摘要
未払金	0	1,362,000	外壁塗装工事代金
合計	0	1,362,000	